平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年5月10日

上場会社名　SHO-BI株式会社　　上場取引所　東
コード番号　7819　URL　http://www.sho-bi.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 寺田　一郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 鎌形　敬史　TEL 03-3472-7890

四半期報告書提出予定日　平成24年5月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	7,515	8.2	538	△35.1	554	△31.7	345	△23.0
23年9月期第2四半期	6,946	7.4	830	33.4	811	19.2	448	△0.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	25.74	―
23年9月期第2四半期	33.43	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第2四半期	11,776	4,711	40.0
23年9月期	10,740	4,441	41.4

(参考) 自己資本　24年9月期第2四半期　4,711百万円　23年9月期　4,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	―	0.00	―	22.50	22.50
24年9月期	―	0.00			
24年9月期(予想)			―	22.50	22.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年9月期の業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	8.1	1,320	4.1	1,300	6.9	730	13.2	54.44

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期2Q	13,410,000 株	23年9月期	13,410,000 株
② 期末自己株式数	24年9月期2Q	85 株	23年9月期	85 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期2Q	13,409,915 株	23年9月期2Q	13,409,915 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）業績予想に関する定性的情報 ……4
２．サマリー情報(その他)に関する事項 ……5
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……5
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……5
３．四半期財務諸表 ……6
（１）四半期貸借対照表 ……6
（２）四半期損益計算書 ……8
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 ……9
（４）継続企業の前提に関する注記 ……11
（５）セグメント情報等 ……11
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間（平成23年10月１日～平成24年３月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災により停滞した生産活動の回復や円高の是正もあり緩やかな持ち直しの動きが見られるものの、欧州財政問題の再燃懸念や原油価格の高騰・電気料金引き上げの影響等、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社は雑貨（ＺＡＣＣＡ）の総合企画メーカーとしてのブランドを確立するため、営業部門、商品企画部門の更なる連携を図るとともに、「新しい事業、新しい販路、新しい調達拠点、新しい商品」への取り組みにより、新規事業、海外事業部門を立ち上げ、組織体制の強化を図り、新商品の開発をはじめ全ての面において信頼される商品力を構築して、自社企画商品の更なる販売に努めてまいりました。特に、新しい商品の開発では、自社ブランドであるデコラティブ・アイラッシュ「ＰＬＡＹ　ＧＩＲＬ」シリーズの第１弾（平成23年９月22日）、第２弾（平成24年３月21日）を発売するとともにメイクアップコスメの新ブランド「ＢＲＩＧＩＴＴＥ」を平成24年１月21日に発売いたしました。これらの活動に伴い、既存販売先及び新規販売先との取引の深耕が図られ、アイメイク関連商品・文具及び季節商品等の売上が順調に推移いたしました。

これらの結果、当第２四半期累計期間の売上高は、7,515,103千円（対前年同四半期比8.2％増）となりましたが、デコラティブ・アイラッシュ「ＰＬＡＹ　ＧＩＲＬ」シリーズ、メイクアップコスメの新ブランド「ＢＲＩＧＩＴＴＥ」など、新ブランドの立ち上げに伴う広告宣伝費等の費用が先行的に発生したため、営業利益は538,632千円（対前年同四半期比35.1％減）、経常利益は554,051千円（対前年同四半期比31.7％減）、四半期純利益は345,164千円（対前年同四半期比23.0％減）となりました。

事業部門別の状況は次のとおりであります。

＜ヘルス＆ビューティ事業＞

主要販売先である総合スーパーのヘルス＆ビューティー関連売場向けの売上は、業界が厳しい状況の中で、販売先との取引深耕を図り、自社ブランドであるデコラティブ・アイラッシュ「ＰＬＡＹ　ＧＩＲＬ」シリーズ及びメイクアップコスメの新ブランド「ＢＲＩＧＩＴＴＥ」などのアイメイク関連商品や季節商品等の自社企画商品の導入が順調に推移いたしました。また、ドラッグストア向け売上についても、新規販売先の獲得をはじめとして既存販売先との取引深耕により販売が順調に拡大し、同様の自社ブランド商品であるアイメイク関連商品等の販売が順調に推移いたしました。この結果、当第２四半期累計期間の売上高は、2,619,924千円（対前年同四半期比12.8％増）となりました。

＜ファンシー・キャラクター事業＞

総合スーパーのファンシー・キャラクター関連売場向けの売上は、業界が厳しい状況の中で、文具、ギフト商品、別注商品（注）等の自社企画商品の導入で概ね順調に推移いたしました。また、自社ブランドであるデコラティブ・アイラッシュ「ＰＬＡＹ　ＧＩＲＬ」シリーズ及びメイクアップコスメの新ブランド「ＢＲＩＧＩＴＴＥ」などのアイメイク関連商品、キャラクター商品、季節商品等の自社企画商品が主流のバラエティーストア向け、ディスカウントストア向け、卸売業者向け売上も順調に推移いたしました。この結果、当第２四半期累計期間の売上高は、4,034,185千円（対前年同四半期比3.7％増）となりました。

（注）別注商品とは、販売先と共同で企画し、販売先に販売権があり発売元表示が当社である商品です。

＜その他事業＞

主要販売先でＯＥＭ商品の受注先である100円均一ショップ向け売上は、先方の在庫調整が一巡したことにより納期変更が少なくなったことに加えて新規販売先の獲得もあり順調に推移いたしました。この結果、当第２四半期累計期間の売上高は、860,992千円（対前年同四半期比17.5％増）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産）

①資産

当第２四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べて1,035,569千円増加し、11,776,148千円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて633,365千円増加し、7,657,424千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が890,899千円、商品が309,137千円増加し、現金及び預金が435,414千円、その他が160,005千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて402,204千円増加し、4,118,723千円となりました。これは主に、大阪本社移転に伴う不動産の購入などにより有形固定資産が931,353千円増加し、投資不動産の売却などにより投資不動産が362,216千円、投資有価証券の償還などにより投資その他の資産のその他が182,590千円減少したこと等によるものであります。

②負債

当第２四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べて765,865千円増加し、7,064,936千円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて184,153千円増加し、4,102,929千円となりました。これは主に、買掛金が407,124千円、短期借入金が700,000千円増加し、1年内返済予定の長期借入金が421,300千円、その他が451,393千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて581,712千円増加し、2,962,007千円となりました。これは主に、長期借入金が624,450千円増加し、社債が50,000千円減少したこと等によるものであります。

③純資産

当第２四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べて269,703千円増加し、4,711,212千円となりました。これは主に、利益剰余金が43,441千円、繰延ヘッジ損益が217,087千円増加（マイナスの減少）したこと等によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、税引前四半期純利益を604,900千円計上するとともに、仕入債務の増加、投資不動産の売却による収入、短期借入れによる収入、長期借入れによる収入があったこと、売上債権の増加、たな卸資産の増加、法人税等の支払額、有形固定資産の取得による支出、短期借入金の返済による支出、長期借入金の返済による支出、配当金の支払額があったこと等により前事業年度末に比べて470,807千円減少し、1,492,613千円となりました。

当第２四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は580,613千円（前年同四半期は276,020千円の獲得）となりました。これは主に、税引前四半期純利益604,900千円計上するとともに、減価償却費63,832千円、仕入債務の増加398,928千円があったこと、為替差益△57,110千円、固定資産売却益△68,542千円、売上債権の増加△887,564千円、たな卸資産の増加△337,975千円、法人税等の支払額△221,469千円があったこと等によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、441,553千円（対前年同四半期比19.0％減）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入1,435,000千円、投資不動産の売却による収入417,040千円、投資有価証券の償還による収入100,000千円があったこと、定期預金の預入による支出△1,435,000千円、有形固定資産の取得による支出△965,862千円があったこと等によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果獲得した資金は、551,359千円（対前年同四半期比38.5％増）となりました。これは主に、短期借入れによる収入1,700,000千円、長期借入れによる収入1,000,000千円があったこと、短期借入金の返済による支出△1,000,000千円、長期借入金の返済による支出△796,850千円、配当金の支払額△300,945千円があったこと等によるものであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

当第２四半期までの業績につきましては、概ね計画どおり推移しております。平成23年11月10日に公表いたしました平成23年９月期決算短信記載の「平成24年９月期の業績予想」に変更はありません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（追加情報）

第１四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年９月30日）	当第２四半期会計期間 （平成24年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,418,420	2,983,006
受取手形及び売掛金	2,319,102	3,210,001
商品	820,885	1,130,022
貯蔵品	92,119	120,958
その他	375,641	215,635
貸倒引当金	△2,110	△2,200
流動資産合計	7,024,059	7,657,424
固定資産		
有形固定資産	1,072,081	2,003,434
無形固定資産	150,669	162,824
投資その他の資産		
投資不動産	1,767,076	1,404,860
その他	731,248	548,658
貸倒引当金	△4,555	△1,053
投資その他の資産合計	2,493,768	1,952,464
固定資産合計	3,716,519	4,118,723
資産合計	10,740,579	11,776,148
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,642,478	2,049,602
短期借入金	－	700,000
1年内返済予定の長期借入金	1,004,700	583,400
未払法人税等	226,994	225,771
賞与引当金	124,561	94,600
返品調整引当金	29,700	34,400
資産除去債務	23,794	－
その他	866,548	415,155
流動負債合計	3,918,776	4,102,929
固定負債		
社債	650,000	600,000
長期借入金	1,105,000	1,729,450
退職給付引当金	140,731	132,571
役員退職慰労引当金	371,650	378,555
資産除去債務	－	28,690
その他	112,912	92,740
固定負債合計	2,380,294	2,962,007
負債合計	6,299,070	7,064,936

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年９月30日)	当第２四半期会計期間 (平成24年３月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	545,500	545,500
資本剰余金	264,313	264,313
利益剰余金	3,868,256	3,911,698
自己株式	△52	△52
株主資本合計	4,678,017	4,721,459
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△10,831	△1,657
繰延ヘッジ損益	△225,677	△8,589
評価・換算差額等合計	△236,508	△10,247
純資産合計	4,441,509	4,711,212
負債純資産合計	10,740,579	11,776,148

（２）四半期損益計算書
第２四半期累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年３月31日）	当第２四半期累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日）
売上高	6,946,654	7,515,103
売上原価	4,541,688	4,951,002
売上総利益	2,404,965	2,564,100
返品調整引当金戻入額	32,400	29,700
返品調整引当金繰入額	34,300	34,400
差引売上総利益	2,403,065	2,559,400
販売費及び一般管理費	1,572,957	2,020,767
営業利益	830,108	538,632
営業外収益		
受取利息	3,540	3,144
受取配当金	728	2,756
不動産賃貸収入	116,504	113,017
その他	4,994	11,454
営業外収益合計	125,767	130,373
営業外費用		
支払利息	23,088	17,490
不動産賃貸費用	43,359	39,243
為替差損	67,858	50,893
その他	10,391	7,328
営業外費用合計	144,698	114,955
経常利益	811,178	554,051
特別利益		
固定資産売却益	－	68,542
特別利益合計	－	68,542
特別損失		
本社移転費用	－	17,693
投資有価証券評価損	15,180	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,284	－
特別損失合計	21,464	17,693
税引前四半期純利益	789,713	604,900
法人税、住民税及び事業税	328,364	220,334
法人税等調整額	13,016	39,400
法人税等合計	341,381	259,735
四半期純利益	448,331	345,164

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年３月31日）	当第２四半期累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	789,713	604,900
減価償却費	52,034	63,832
貸倒引当金の増減額（△は減少）	357	△3,412
賞与引当金の増減額（△は減少）	△26,375	△29,961
返品調整引当金の増減額（△は減少）	1,900	4,700
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△7,641	△8,160
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	8,285	6,905
投資有価証券評価損益（△は益）	15,180	－
本社移転費用	－	17,693
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,284	－
受取利息及び受取配当金	△4,268	△5,900
支払利息	23,088	17,490
為替差損益（△は益）	－	△57,110
固定資産売却損益（△は益）	－	△68,542
売上債権の増減額（△は増加）	△527,297	△887,564
たな卸資産の増減額（△は増加）	91,074	△337,975
仕入債務の増減額（△は減少）	253,571	398,928
その他	△11,337	△65,780
小計	664,570	△349,958
利息及び配当金の受取額	2,632	7,327
利息の支払額	△22,721	△16,512
法人税等の支払額	△368,460	△221,469
営業活動によるキャッシュ・フロー	276,020	△580,613
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,335,000	△1,435,000
定期預金の払戻による収入	835,000	1,435,000
有形固定資産の取得による支出	△12,394	△965,862
無形固定資産の取得による支出	△4,082	△17,451
投資不動産の取得による支出	△22,298	△3,340
投資不動産の売却による収入	－	417,040
資産除去債務の履行による支出	－	△24,000
貸付けによる支出	－	△15,418
投資有価証券の取得による支出	△4,863	△4,941
投資有価証券の償還による収入	－	100,000
差入保証金の回収による収入	－	93,611
その他	△1,169	△21,192
投資活動によるキャッシュ・フロー	△544,807	△441,553

(単位：千円)

	前第２四半期累計期間 (自　平成22年10月１日 至　平成23年３月31日)	当第２四半期累計期間 (自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	―	1,700,000
短期借入金の返済による支出	△500,000	△1,000,000
長期借入れによる収入	1,500,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△250,600	△796,850
社債の償還による支出	△50,000	△50,000
配当金の支払額	△300,650	△300,945
その他	△681	△844
財務活動によるキャッシュ・フロー	398,067	551,359
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	129,280	△470,807
現金及び現金同等物の期首残高	1,778,501	1,963,420
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,907,781	1,492,613

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

当社は、化粧雑貨、服飾雑貨及びキャラクター雑貨等の商品を幅広く取り扱っており、これらの商品の調達方法及び販売方法等については同一であることから単一の事業セグメントとしているため、記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。